

感動と感謝、そして誇り

2月5日（月曜）、県教育長 前川 謙介 様、教育次長 狩野 博臣 様、教育政策課長 犬塚 尚志 様にご来校いただきました。

『子どもにとって一番の学校の姿を、当事者を交え「子どもファースト」で考えたい。現場で人と会い、交わした意見を発想につなげる』（長崎新聞（2024年2月2日）前川教育長インタビュー記事より抜粋）』

今、現場で何が起きているのか。今、現場の課題は何なのか。そういった点について、特別支援学校にもいち早く目を向けられ、そして足を運んでくださったことに、特別支援学校を代表して心から感謝を申し上げます。

夕方、教育次長 狩野 博臣 様から代表でお礼のメールが届きました。大変光栄な内容でしたので、承諾を得たうえで、みなさんにも紹介させていただきます。

鶴南特別支援学校 校長 分藤 賢之 様

本日午前中、大変ご多用の中に前川教育長はじめ3名の訪問を受け入れてくださり、心から感謝申し上げます。前川教育長は帰りの車の中でも、鶴南特別支援学校の先生方が一人一人の児童生徒たちの特性に応じた教育を実践されていらっしゃることや、授業の中で粘り強く、献身的に、また温かい眼差しをもって子どもたちを支援し、見守り、確実に成長へとつなげていらっしゃる先生方の姿に感動されていました。

また、長崎県の特別支援学校の先生方に心からの敬意を表されておりましたし、志高く、思いの深い先生方が本県の教育に携わっていただいていることを誇りに思われておりました。小学部1年生のまずは席に座るところからの指導から始まり、12年後には高等部3年生に代表されるような生徒に成長していく姿に感銘を受けましたし、鶴南特別支援学校の教育レベルの高さを目の当たりにしました。子どもたちの成長の陰にはどれほど先生方のご努力やご苦勞があられるのか、ということは想像の域を出ませんが、全ての先生方に心から敬意を表したいと存じます。

本日は教育の原点を見せていただいた思いがしましたし、人としての在り方も考えさせられる機会となりました。教育の可能性を感じ、また未来に明るい光が差し込んでいるような、爽やかな気持ちで学校を後にしました。お土産にいただきました、生徒たちが実習の中で心を込めて、また一生懸命に製作された作品につきましては、子どもたちの姿を思い浮かべながら大切に使用させていただきます。

最後になりますが、松川副校長先生、酒井教頭先生、堀川事務長先生はじめ、今回の学校訪問に際しましてご準備くださいました先生方にお礼をお伝えくだされば幸甚に存じます。

本日はありがとうございました。先生方と共に私たちも子どもたちのためにがんばります！！

長崎県教育庁 教育次長 狩野 博臣

がんばる子供達に「子どもファースト」で応えたい！

本年度の努力目標の一つ	経営活動の行動計画の一つ
○積極的な情報発信による、本校教育の広報及び理解・啓発の促進	・学校は、学校経営方針を積極的に情報発信して、分かりやすい学校づくり、社会に開かれた学校づくりをめざしているか。



高等部3年生代表あいさつ（教育長：中、次長：奥、課長：手前）